

備前市事務事業評価表

事務事業名	海運団体支援事業		コード	04-02-04-01
			担当課・係	日生総合支所産業建設課
			担当者	星尾 靖行
			電話	72-1254
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	起業と創造が支えるまちづくり		
	小項目(施策)	海運業（組織、経営基盤の強化の支援）		

事業について		
目的 (何のために)	市内の海運団体を支援することで、海運事業者の発展、育成を図る。	
対象 (誰・何を対象に)	海運団体及び海運事業者	
内容	日生地区海運組合への運営補助、事業補助	

事業の結果		
実施項目	17年度	18年度
	回数など (単位)	回数など (単位)
日生地区海運組合補助 組合員数	1 団体 85 社	1 団体 81 社

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費 人件費	2,404 1,160	国庫補助金等 受益者負担		直接事業費 人件費	2,270 1,585	国庫補助金等 受益者負担		直接事業費 人件費		国庫補助金等 受益者負担	
	合計	3,564	一般財源等	3,564	合計	3,855	一般財源等	3,855	合計	0	一般財源等	0

結果指標	必要人員	0.17 人	0.17 人
	結果指標名	組合員数	組合員数
	結果指標量	85	81
	単位	社	社
結果指標	対前年比	-	95.29%
	活動にかかるコスト	3,564,000 円	3,855,000 円
	単位当たりコスト	41,929 円	47,593 円
	結果指標名		
結果指標	結果指標量		
	単位		
	対前年比	-	
	活動にかかるコスト		
結果指標	単位当たりコスト		

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	旧日生町の地場産業の一つである内航海運業が規制緩和等で衰退する中、組合員数も年々減少しており、この事業を活性化の一助にしているため。		
成果指標名	日生地区海運組合員数	式又は説明	交付団体は、海運事業の発展に取り組んでおり、行政として支援していく必要がある。
	17年度	18年度	
成果指標量	85	81	
対前年比	-	95.29%	0.00%
到達目標値	85	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価 < A ~ E > B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	市内海運業、海運広報協会を支援し、海運事業者の発展、育成を図ることは妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	支援先の海運組合の財政状況等を把握し、効率のよい補助、会費であることを確認しているが、さらにコスト削減を押し進めていく。	
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映しやすい		
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	有効性評価 < A ~ E > B 課題認識
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	必要な事業補助、会費であることを確認しながら、継続的に支援していくことが必要である。
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度の状況		説明 日生地区海運組合の補助金を1割カット及び新造船フラフを廃止している。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 81	結果指標量 85 (社)

総合評価	海運組合活動により、市の海運事業の発展につながっている。今後とも継続的に、効率的に支援していく必要がある。	評価区分 < A ~ E > B
------	---	------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	補助金の縮小	平成20年度	補助金を縮小しても事業効果を期待する。